研究所だより
69号 2026. 6. 10

せんじょうち

発行/編集
黒部川扇状地研究所
Tel/Fax　0765-72-0013
Email senjochi@milale.ne.jp

4/25　「総会と春季研究例会」



令和８年度の総会と春季研究例会が開催されました。総会では、鍋谷所長の挨拶の後、来賓としてお迎えした入善町教育長の小川晋氏からご祝辞を賜りました。昨年度の事業報告、決算・監査報告及び令和 8・9 年度の役員、今年度の事業や予算、創立 50 周年記念事業について報告・提案があり、協議の結果承認していただき、新しい体制で今年度の事業がスタートしました。

また、各研究部会の今年度の活動内容の説明も行われました。会員一同力を合わせて活発な活動を展開することによって、創立５０周年という記念の年にふさわしい年度にしていきたいきたいものです。

講演　黒部扇状地の研究史：テキスト分析でみる研究の展開と多様性

富山大学人文学部　教授　大西　宏治　氏　講演

総会終了後、本研究所の副所長も務めておられる大西先生に、黒部川扇状地に関する研究について、現在までの研究論文を中心に分析し、まとめた結果等を詳しく説明しながら講演していただきました。

聴講することによって、改めて黒部川扇状地の特徴や魅力を確認することができました。また、この地域社会が抱えている課題や今後の進むべき方向性についてもたくさんの示唆をいただきました。このことは、地域社会に根ざした本研究所の今後の進むべき方向性にも関わる重要なことであると感じました。



5/3　かがんぽしいの里で田植え体験



※「かがんぽしい」は、地元の方言で「まぶしい」の意味です。



泥にも負けず頑張りました！

今年度も「環境にやさしい農業を体験しよう」の事業として今江にある 30 年余りにわたって農薬、化学肥料を使わないで米を栽培してきた水田で田植えを行いました。森・能澤研究員の指導の下、小学生と保護者、日本大学の水嶋ゼミのＯＢ・ＯＧの方、研究所の会員の皆さんが協力して作業しました。作業終了後、おいしいカレーもふるまわれました。





作業を終えて集合写真

5/17　扇状地眺望登山①（負釣山）



新緑の山道を進む！

今年度初回の扇状地眺望登山は、昨年秋に熊出没のため中止となった負釣山で実施し、１１名の参加がありました。天候には恵まれたものの春霞が濃くて扇状地の眺望は望めませんでしたが、新緑が美しく、さわやかな汗をかくことができました。負釣山本峰を登頂後、南峰まで足を延ばして昼食タイムとなりました。昼食後、登ってきたコースで無事下山することができました。





負釣山の山頂にて万歳

5/29　扇状地探訪ウォーク①
～黒部川右岸堤防沿いコース～



日本海石産では建設資材等に用いられる黒部川産の石が品質、価格ともに一級品であることを教えてくださいました。



入善ウォーターに向かう途中、陸堀りの様子を見学することができました。

２４名の参加があり、さくらパーク板屋の駐車場に集合し、黒部川右岸の堤防沿いにある日本海石産工業株式会社、入善ウォーター株式会社、アイシンメタルテック株式会社を歩いて訪問しました。参加者にとっては、地元に立地している企業がどのような活動をしているのかを知るよい機会になったのではないかと思います。



入善ウォーターでは、地下200m から水を汲み上げ、自社製造のペットボトルに入れて販売していることを教えてくださいました。



アイシンメタルテックでは、鍛造による自動車部品の製造の仕方を説明していただき、製造現場を見学しました。

8/23(日)　夏季研究例会 13:30～
うるおい館イベントホール1

13:40～14:40　研究発表
「黒部川扇状地の危険因子」
発表者:(一社)黒部川扇状地研究所
小林　正人　研究員

15:00～16:30　講演
演題:「富山県の獅子舞の多様性について」
講師:(一社)黒部川扇状地研究所
松島　吉信　副所長



創立50周年記念事業について(総会で承認された記念事業の概要)

○創立50周年記念式典(秋季研究例会を兼ねる)
11月7日(土)13:30～　うるおい館(予定)
記念式典・研究所50年のあゆみ
記念講演:講師　映画監督本木克英氏、祝賀会



○創立50周年記念出版「黒部川扇状地―水とくらしのものがたり―」
A4 版カラー印刷　約80ページ　1000部　記念式典までに作成
学校、図書館、官公庁、各種協力団体に寄贈
会員・一般の皆様には協力金(一口 3,000 円)をお願いし、出版物をお渡しする。